

先端創薬科学講座セミナーコース
Forefront of Drug Discovery (FDD) Seminar 2018
< 趣意書 >

東京大学大学院薬学系研究科では、より良い医薬品の創成と適正な使用を目指す科学としての薬学の発展をめざし、この領域におけるリーダーとして先端的な研究と人材の育成に励んでおります。また本学と薬学の専門知識を活かして業界、官界、医療の現場等でご活躍されている方々との情報交換を綿密にし、連携をさらに深めることを主な目的とした、社会人を対象とするセミナーシリーズを開講しております。これらのセミナーは、本学における教育と研究を奨励・助成し、もって学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的として大正 14 年に設立された公益法人である公益財団法人薬学振興会主催の事業として行なわれております。

「先端創薬科学講座セミナーコース」は平成 17 年度から年に一回、年度後半の約 4 ヶ月間にわたり開催して参りました。第 12 回目である平成 28 年度のコースは、学内教授陣及び学外から講師を招聘し、全 10 回 17 セミナー（90 分/1 コマ）にて開催させていただき、好評を博しました。13 回目を迎える平成 29 年度のセミナーについては、更なる発展を期して、参加者を対象として行わせていただいたアンケート調査に基づき、学内外有識者による企画委員会を開いて内容の討論を重ねて参りました。その結果、新たに企業とのコミュニケーションを深める企画を複数取り入れ、「総論」、「疾患の理解と分子標的の探索」、「新技術とトランスレーショナルリサーチ」、「臨床開発、薬事、医薬品評価科学、マーケティング」、「特別講演」の構成（全 10 回 17 セミナー及び特別講演）にて、平成 29 年 10 月より平成 30 年 3 月までの間で開講する運びとなりました。今回は、臨床治験や探索的な医療に携わる医師の方々に講師として加わって頂きました。

本セミナーは、主として、企業において研究開発、臨床開発、企画、薬事等に携わっている方々や新しい医薬品の審査に関わっておられる方々を対象に、最近の創薬研究活動の最先端を知っていただくことを目的としております。本セミナーに参加することにより、ダイナミックに展開する創薬基礎研究の世界において、近い将来に話題に上がることが確実な新しい情報をいち早くキャッチし、日々の活動に生かすこと及び科学的に質の高い創薬研究を見極めるために必要な知識を確実に得ることができます。コース終了時には、コースを受講し試験に合格したことを薬学系研究科長が認定し、修了証書を授与します。年齢やお立場にかかわらず奮ってご参加下さい。

公益財団法人 薬学振興会・理事長
東京大学名誉教授
入村 達郎

東京大学・大学院薬学系研究科長
新井 洋由